

令和5年11月7日  
国土交通省関東地方整備局  
荒川下流河川事務所

## 関係機関と連携した、現地実動訓練を実施します

～大規模地震時の迅速な災害対応を目指して～

荒川下流防災施設運用協議会では、大規模地震に備え荒川下流部に整備している河川防災設備の運用検証及び利用習熟等を目的に平成24年から実動訓練を実施しております。関東大震災から100年の節目となる今年は江戸川区の平井水上ステーションを活用し、現地実動訓練を通じて関係機関との連携を深め、今後起こりうる大規模地震への備えを進めてまいります。

訓練名称：令和5年度荒川下流防災施設現地実動訓練

日時：令和5年11月10日（金）13：00～16：00

場所：江戸川区（平井水上ステーション及び平井運動公園周辺河川敷）

参加団体：警視庁・東京消防庁・海上保安庁・東京都公園協会・東京国道事務所  
大宮国道事務所・江戸川区役所・荒川下流河川事務所

- 取材申込■ 取材をご希望される報道関係者は11月9日（木）15時00分までに、以下のとおり、メールにて事前登録をお願いいたします。
- 件名 【取材希望】令和5年度荒川下流防災施設現地実動訓練
- 本文 氏名（ふりがな）、所属、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）  
車両ナンバー（車で来場する場合）
- 送付先 ktr-arage-press@mlit.go.jp

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 都庁記者クラブ 神奈川建設記者会  
川口市記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局

荒川下流河川事務所

電話：03-3902-2311（代表） e-mail：ktr-arage-press@mlit.go.jp

総括地域防災調整官 糊澤 義一（くるみさわ よしかず）（内線：206）

地域防災調整官 増尾 健（ますお たけし）（内線：304）



# 平井水上ステーションで大規模地震を想定した訓練を実施します

この訓練は、荒川河川敷に整備した船着場や河川敷道路等を災害時に有効に活用するため、各施設の利便性や機能の確認、各災害対応機関の利用習熟等を目的として実施するものです。

令和5年 荒天時中止  
**11月10日(金)**

13:00 ~ 16:00 (予定)  
※一部訓練を12:30に開始します

訓練場所 平井水上ステーション及び平井運動公園周辺河川敷

立入禁止範囲

ヘリ訓練会場 13:20-13:40  
メイン会場 12:30-16:00



河川敷避難訓練  
避難者情報提供訓練



河川敷移動訓練  
道路啓開訓練



支援物資輸送訓練  
帰宅困難者輸送訓練



水面救助訓練



緊急物資輸送訓練



資機材輸送訓練



消火用水取水訓練



## 訓練へのご理解、ご協力をお願いします。

- 「ヘリ離着陸訓練会場」周辺で、13時20分から13時40分の間、立入禁止となります。
- 「メイン会場」周辺で、12時30分から16時00分の間、立入禁止となります。
- ヘリコプターや船舶での訓練を行う際には、一時的に大きな音や砂塵が発生します。
- 立入禁止区域外からの見学は自由ですが、現地検証を目的とした訓練のため、訓練の説明等は行っていません。
- 見学する場合は、訓練車両のほか、他の利用者の通行等にもご注意ください。
  - ・大型の車両等が緊急用河川敷道路を走行します。
  - ・上記立入禁止時間は、訓練の進行状況により変更になる可能性があります。
  - ・上記訓練内容は、実災害対応等により変更になる可能性があります。

お問合せ先

国土交通省 荒川下流河川事務所 流域治水課 品質確保・防災企画室 TEL:03-3902-3220  
江戸川区 危機管理部 防災危機管理課 計画係 TEL:03-5662-1992

# 首都圏で大地震が！ そのとき荒川は…

## どのような混乱が起こるのか？

### フェーズ1(発災～1日後程度)

#### 住民等の利用 ▶▶▶ 大規模火災時等の避難場所



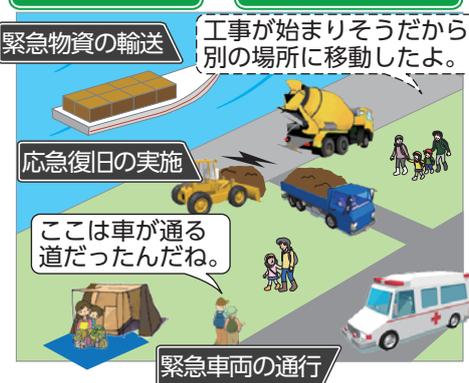
#### 災害対応での利用 ▶▶▶

ヘリの離着陸  
点検・パトロールの実施

大規模な地震が発生し、市街地に火災等が発生した場合には、住民等の河川敷への避難が想定されます。一方、災害対応の活動が始まると、被災状況の点検・パトロール等のために緊急車両が緊急用河川敷道路や緊急用橋梁アクセス道路を通行したり、臨時のヘリポート等として河川敷を利用する可能性があります。

### フェーズ2(1日後～3日後程度)

#### 避難者の移動 残留避難者の滞留



#### 応急復旧の実施

緊急車両等の通行

24時間以降、火災等が収まると、避難者は、避難していた河川敷から自宅や市区で指定している避難所へ移動することが想定されます。河川敷では、被災個所の復旧活動が行われたり、救助・救出活動が本格的に始まり、引き続き、緊急車両の通行や臨時のヘリポート等として河川敷を利用する可能性があります。

### フェーズ3(3日目以降)

#### 帰宅困難者の移動 残留避難者の滞留



#### 緊急輸送路として大型車両の通行

支援物資などの集積場所

3日目以降は、帰宅困難者の移動や復旧・復興に向けた活動が始まる時期です。河川敷では、支援物資や復旧・復興の資機材の運搬等が開始され、大型車両や重機が通行するほか、広域応援部隊の移動や活動拠点として河川敷を利用する可能性があります。

※フェーズ毎の状況はあくまでも目安であり、大規模な余震の発生等により時期がずれ込む可能性があります。

## 大規模地震発生時の荒川の機能

荒川下流部には、避難場所や各種物資の輸送ルート、広域応援部隊の活動拠点等として利用できる施設や広いオープンスペースがあります。これらを併せて「河川防災施設」と呼び、以下のような機能を担うことが期待されています。

### 緊急用河川敷道路・緊急用橋梁アクセス道路



### 緊急用船着場



### 河川敷

避難場所、臨時ヘリポート、臨時広域活動拠点、復旧・復興関連仮置場の各候補地



緊急輸送道路や荒川(水路)をつないで様々な人や物資を運ぶ **輸送路** としての機能

火災からの避難場所、様々な災害対策に利用される **オープンスペース** としての機能

## 河川防災施設 の詳細はこちらへ

### 荒川下流防災施設運用協議会

大規模地震発生時に荒川下流部の防災施設を有効かつ円滑に活用することを目的に、沿川の自治体・消防・警察・自衛隊等の防災関係機関で構成される協議会を平成23年に設立し、「荒川下流防災施設活用計画」を平成25年2月に策定しました。

本協議会では、防災担当者間の情報交換・連携の場として「顔が見える関係」の構築、「組織の立場を超えた」自由な発想による議論を前提としたワークショップや現地実動訓練による検証を継続的に実施し、活用計画の改善に取り組んでいます。

### 荒川下流防災施設活用計画 [公表版]



### 荒川下流防災施設運用協議会

川口市 / 戸田市 / 墨田区 / 江東区 / 北区 / 板橋区 / 足立区 / 葛飾区 / 江戸川区 / 埼玉県 / 埼玉県警察本部 / 東京都 / 警視庁 / 東京消防庁 / 陸上自衛隊 / 荒川下流河川事務所 及び 荒川区、海上保安庁、荒川上流河川事務所、東京国道事務所、大宮国道事務所

## 令和5年度 荒川下流防災施設現地実動訓練 実施概要

### 【訓練概要】

- ① 河川敷避難訓練
- ② 消火用水取水訓練
- ③ 避難者情報提供訓練
- ④ 水面救助訓練
- ⑤ 緊急物資輸送訓練
- ⑥ 資機材輸送訓練
- ⑦ 道路啓開訓練
- ⑧ 河川敷移動訓練
- ⑨ 支援物資輸送訓練
- ⑩ 帰宅困難者輸送訓練

※訓練中は、緊急用河川敷道路(一部)の通行(自転車・歩行)が一時的に制限されます。迂回路へご案内しますのでご協力お願いいたします。

### 報道関係者取材について

車両でお越しの場合は、申込時のメールにて車両のナンバーを記載して下さい。  
受付は、12時30分から行います。なお、13時20分から13時50分は、  
会場の出入りが一部制限されますのでご注意ください。詳細は、次頁をご確認ください。

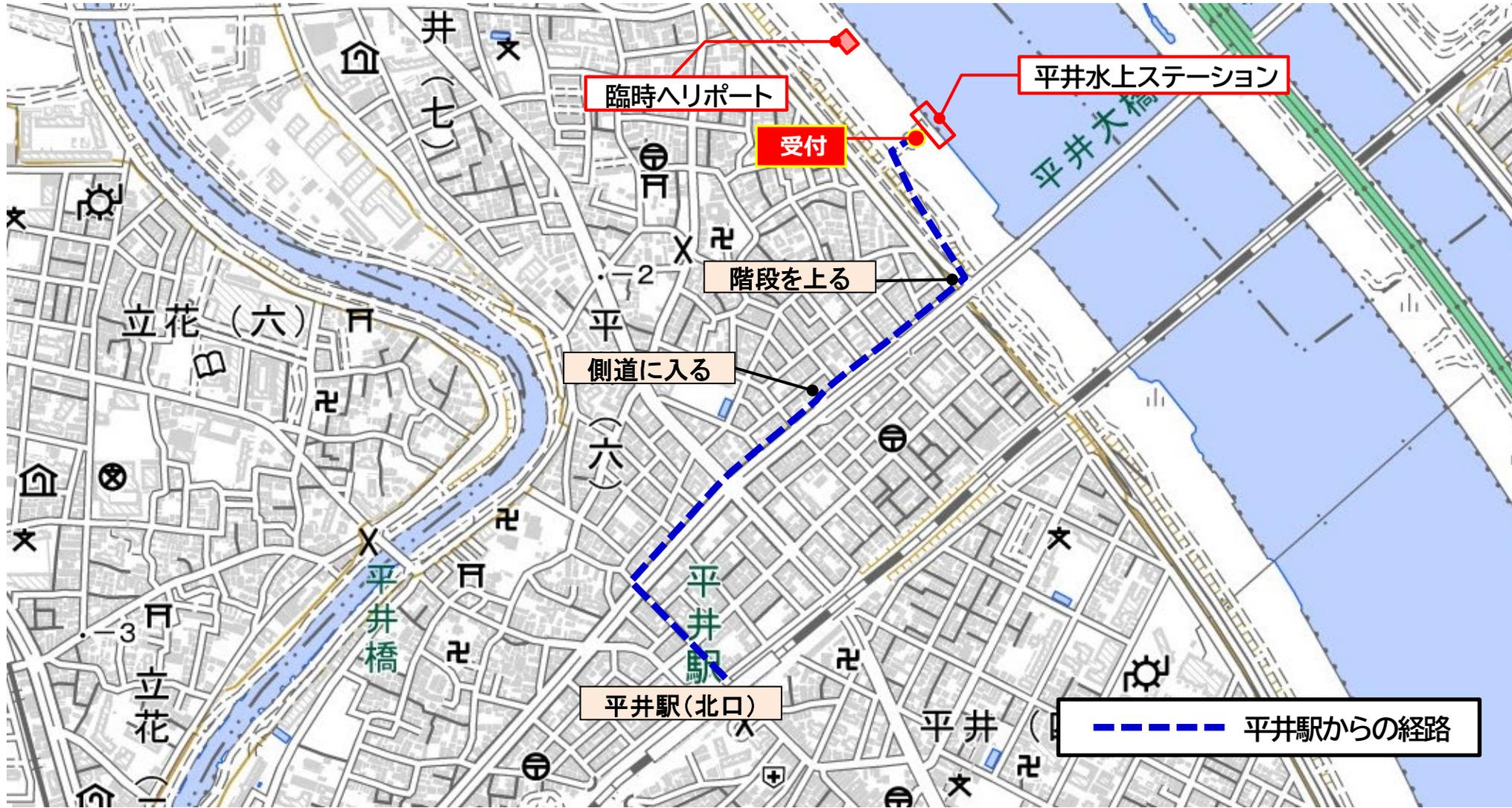
### 一般見学について

見学者の受け入れは行っておりません。

## 交通のご案内

- JR平井駅「北口」より徒歩約15分(約1km)
- 電車等の公共交通機関でお越しください。
- 自動車でご来場される場合は、誘導員に従ってください。なお、13:20頃～13:50頃はヘリの離着陸訓練のため通行できません。

- 下図の場所ですべて受付を行って下さい。
- 途中、道路の横断などがありますため、お気をつけてご来場下さい。また会場内では、訓練車両等にお気を付け下さい。



# ■ 自動車でご来場の場合（平井大橋右岸上流側ゲートより進入・退出）

- ➡ 進入ルート 亀戸方面からのみ進入可
- ➡ 退出ルート 新小岩方面へのみ退出可

13:20頃～13:50頃はヘリ訓練のため通行できません。



※坂路部分  
道幅4.0m

駐車場

新小岩方面 →  
平井大橋(都道315号)

荒川 ↓

JR総武線

← 亀戸方面

平井大橋大橋右岸上流側の出入口ゲート  
訓練当日は、平井大橋右岸上流側の坂路にゲート管理員を配置します。  
許可証は車両のダッシュボードに掲出ください。

# 【参考】令和4年度実施状況

この訓練は、荒川河川敷に整備した河川防災施設の災害時の有効活用のため、各施設の利便性や機能の確認、各災害対応機関の利用習熟等を目的として実施しました。

**訓練日時**

令和4年11月18日(金)12:30~16:00

**訓練場所**

岩淵緊急用船着場及び新荒川大橋周辺河川敷

**参加機関**

東京都、公益財団法人東京都公園協会、警視庁(赤羽警察署、王子警察署、志村警察署、東京湾岸警察署)、東京消防庁(航空隊、即応対処部隊、赤羽消防署)、埼玉県警察(航空隊、危機管理課、機動隊、川口警察署)、陸上自衛隊第1師団第1普通科連隊、海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部、大宮国道事務所、北区役所及び北区住民、一般社団法人東京都トラック協会北支部、荒川下流河川事務所



左から2番目は公財東京都公園協会

**主催**

荒川下流防災施設運用協議会

**実施規模**

訓練実施機関 19機関 183人(延べ)  
協議会機関、協力機関 14機関 39人



|                 |  |            |             |
|-----------------|--|------------|-------------|
| ① 河川敷避難訓練       | 北区役所・北区住民、警視庁(赤羽警察署)                                   | 新荒川大橋周辺河川敷 | 12:10~12:50 |
| ② 離着陸検証訓練       | 東京消防庁(航空隊)、埼玉県警察(航空隊)                                  | 新荒川大橋周辺河川敷 | 13:10~13:20 |
| ③ TEC-FORCE輸送訓練 | 荒川下流河川事務所  | 新荒川大橋周辺河川敷 | 13:20~13:30 |
| ④ 避難者情報提供訓練     | 北区役所・北区住民、荒川下流河川事務所                                    | 新荒川大橋周辺河川敷 | 13:40~13:50 |
| ⑤ 応援要員輸送訓練      | 荒川下流河川事務所  | 岩淵緊急用船着場   | 13:50~13:55 |
| ⑥ 情報収集訓練        | 埼玉県警察(危機管理課・機動隊・川口警察署)                                 | 岩淵緊急用船着場   | 13:50~13:55 |
| ⑦ 被災状況調査訓練      | 東京消防庁(即応対処部隊)  | 岩淵緊急用船着場   | 13:55~14:05 |
| ⑧ 被災者救出訓練       | 東京消防庁(即応対処部隊)  | 岩淵緊急用船着場   | 14:05~14:15 |
| ⑨ 支援物資輸送訓練      | 東京都、(公財)東京都公園協会、陸上自衛隊第1師団第1普通科連隊、北区役所・(一社)東京都トラック協会北支部 | 岩淵緊急用船着場   | 14:15~14:30 |
| ⑩ 道路啓開訓練        | 警視庁(赤羽警察署・王子警察署・志村警察署)、大宮国道事務所                         | 新荒川大橋周辺河川敷 | 14:25~14:40 |
| ⑪ 帰宅困難者輸送訓練     | 東京都、(公財)東京都公園協会、警視庁(東京湾岸警察署・赤羽警察署)、北区役所・北区住民           | 岩淵緊急用船着場   | 14:40~15:05 |
| ⑫ 着岸検証訓練        | 海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部                                 | 岩淵緊急用船着場   | 15:05~15:10 |
| ⑬ 偵察隊移動訓練       | 陸上自衛隊第1師団第1普通科連隊                                       | 岩淵緊急用船着場   | 15:10~15:20 |
| ⑭ 消火用水取水訓練      | 東京消防庁(赤羽消防署)、荒川下流河川事務所                                 | 岩淵緊急用船着場   | 15:20~15:40 |

① **河川敷避難訓練** ▶赤羽警察署の誘導によって、地元住民がいつとき避難場所から河川敷までの避難を実施



地元住民がいつとき避難場所に集合



赤羽警察署の誘導により避難



河川敷への避難完了

③ **TEC-FORCE輸送訓練** ▶国土交通省関東地方整備局のヘリ「あおぞら」を用いて、国土交通省の緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」の輸送を実施



国土交通省関東地方整備局「あおぞら」が着陸



TEC-FORCEが「あおぞら」から降機



訓練本部に到着を報告

⑤ **応援要員輸送訓練** ▶ヘリで到着したTEC-FORCEを荒川下流河川事務所の災害対策支援船「あらかわ」により被災現場までの輸送を実施



TEC-FORCEが「あらかわ」に乗船



「あらかわ」が被災現場に向けて出発

② **離着陸検証訓練** ▶東京消防庁航空隊と埼玉県警察航空隊のヘリが、新荒川大橋緑地を場外離着陸場とした離着陸検証を実施



東京消防庁航空隊「かもめ」が着陸



東京消防庁航空隊「かもめ」が離陸



埼玉県警察航空隊「むさし」が着陸



埼玉県警察航空隊「むさし」が離陸

④ **避難者情報提供訓練** ▶荒川下流河川事務所が河川敷避難者に向けて河川敷放送設備を用いた情報提供を実施



河川敷放送設備より放送



避難者が放送内容を確認

⑥ **情報収集訓練** ▶埼玉県警察(危機管理課・機動隊・川口警察署)の手漕ぎボートを使用して河川敷の避難状況の情報収集を実施



手漕ぎのボートで対岸より岩淵緊急用船着場に到着



情報収集の開始を訓練本部に報告

**⑦ 被災状況調査訓練** ▶東京消防庁即応対処部隊のドローンとエアポートを使用して上空と水面から被災状況の調査を実施



ドローンにより上空から被災状況を調査



ドローンカメラからの画像をリアルタイムで確認



エアポートにより水面から被災状況を調査

**⑨ 支援物資輸送訓練** ▶東京都公園協会の上水バス「こすもす」で岩淵緊急用船着場に届いた支援物資を東京都トラック協会北支部と陸上自衛隊第1師団のトラックに積み替え陸路輸送を実施



支援物資を載せた水上バス「こすもす」が岩淵緊急用船着場に到着



北区職員と陸上自衛隊第1師団のパケツリレーにより支援物資を搬出



支援物資を東京都トラック協会北支部と陸上自衛隊第1師団のトラックに積み替え



支援物資の受け取りを訓練本部に報告



北区防災センターに向けて出発

**⑧ 被災者救出訓練** ▶東京消防庁即応対処部隊の高機能救命ボートにより被災者の救出を実施



被災者のいる中の島の護岸に高機能救命ボートが接近



被災者を高機能救命ボートへ乗船誘導



被災者を乗せて移動



安全な場所に着岸して被災者を下船誘導

**⑩ 道路啓開訓練** ▶赤羽警察署、王子警察署、志村警察署と大宮国道事務所により放置車両の移動を実施



車輪をタイヤの下に装着



ジャッキで車を持ち上げ



車を横から押して移動



道路啓開が完了後、支援物資を載せたトラックが通過

**⑪ 帰宅困難者輸送訓練** ▶余震の発生を受け帰宅困難者を乗せた東京都公園協会の水上バス「こすもす」から水上バス職員が東京湾岸警察署の警備艇「みやこどり」に移乗し岩淵緊急用船着場の安全を確認。安全確認後に水上バスは着岸、帰宅困難者が下船し、赤羽警察署が避難所までの誘導を実施



停泊中の水上バス「こすもす」に警備艇「みやこどり」が急行



水上バス「こすもす」に警備艇「みやこどり」が接舷



水上バス「こすもす」から警備艇「みやこどり」に水上バス職員が先行して移乗し、船着場の安全を確認



船着場の安全確認後、水上バス「こすもす」が着岸し、帰宅困難者が下船



赤羽警察署により帰宅困難者を避難所へ誘導

**⑫ 着岸検証訓練** ▶海上保安庁東京海上保安部が、岩淵緊急用船着場において高速警備救難艇の接岸検証、進出訓練を実施



海上保安庁東京海上保安部の高速警備救難艇が着岸



着岸後訓練本部へ報告



訓練本部報告後離岸

**⑬ 偵察隊移動訓練** ▶陸上自衛隊第1師団の偵察隊が対岸の川口緊急用船着場から渡河ボートで水上移動し、岩淵緊急用船着場から上陸する偵察隊移動訓練を実施



川口緊急用船着場から水上進出



岩淵緊急用船着場着岸

**⑭ 消火用水取水訓練** ▶荒川下流河川事務所の排水ポンプ車で河川水を取水して中継プールに貯水、赤羽消防署が消防ポンプ車で中継プールから取水して消火用水を放水する連携訓練を実施



赤羽消防署の消防ポンプ車と荒川下流河川事務所の排水ポンプ車が出勤



荒川からの河川水を取水し、中継プールへ貯水



中継プールより消防ポンプ車で取水し放水



渡河ボートからバイクを陸揚げ



上陸後訓練本部まで走行



偵察隊の到着を訓練本部へ報告